

10 畜産の動向

(1) 乳用牛

中部地区は戸数及び頭数共に県下の約5割弱を占める。戸数は令和4年以降減少しており、対前年2戸減（全県5戸減）。飼養頭数は、前年比は横ばいだが令和2年以降減少、経産牛頭数は維持傾向にある。

（単位：戸、頭、％）

区 分	中部地区		県	前年比	県内占有率
		前年比			
経営戸数	48	96.0	97	95.1	49.5
飼養頭数	4,611	100.4	9,721	99.8	47.4
うち経産牛頭数	3,282	104.9	6,251	100.7	52.5

資料：家畜飼養状況調査、令和7年2月1日県畜産振興課

(2) 肉用牛

中部地区は戸数で県下の約4割、頭数で約6割を占める。特に乳牛・交雑牛飼養頭数においては、全県の8割を占めている。肉用牛は全国に通用する種雄牛の造成により和子牛相場は高騰傾向にあり、繁殖経営の増頭が進んだが近年は微減。肥育経営は導入素牛の高騰により令和5年を境に飼養頭数は減少傾向にある。

（単位：戸、頭、％）

区 分			中部地区		県	前年比	県内占有率
				前年比			
肉用牛経営戸数			107	94.7	250	94.3	42.8
飼養頭数	総頭数		12,381	98.8	20,843	98.2	59.4
	繁殖	繁殖雌牛頭数	1,806	93.8	4,732	91.7	38.2
		うち24か月齢以上	1,310	93.6	3,760	93.1	34.8
	肥育	和牛	3,222	96.5	6,630	98.3	48.6
		乳牛・交雑牛	6,841	104.9	8,320	105.0	82.2

資料：家畜飼養状況調査、令和7年2月1日県畜産振興課

(3) 豚

中部地区及び全県で戸数が減少している。中部地区では令和3年以降飼養頭数は減少しているが、近年は維持傾向である。

（単位：戸、頭、％）

区 分	中部地区		県	前年比	県内占有率
		前年比			
経営戸数	8	100.0	14	100.0	57.1
飼養頭数	12,403	101.5	57,602	89.2	21.5

資料：家畜飼養状況調査、令和7年2月1日県畜産振興課

(4) 鶏

採卵鶏は羽数が減少傾向、肉用鶏及び種鶏は企業経営を中心に飼養され、戸数は維持傾向、羽数は近年微増している。

（単位：戸、羽、％）

区 分	中部地区		県	前年比	県内占有率
		前年比			
経営戸数	38	102.7	78	100.0	48.7
飼養羽数	1,993,562	100.3	3,802,806	101.5	52.4
採卵鶏	23,771	96.7	250,634	94.6	9.5
	76,176	97.6	76,176	86.5	100.0
	1,893,615	100.4	3,475,996	102.4	54.5

資料：家畜飼養状況調査、令和7年2月1日県畜産振興課